



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2014.9月号

平塚学講座開講!!

地域に暮し、地域を学ぶ



「野外実習」で学芸員の説明を聞く昨年度受講生(2013年11月)

「平塚に長く住んできたけど実は地域の自然や歴史についてよく知らない」、「平塚に住み始めたばかりなので、平塚のことについて知りたい」—そんな方にぜひ受講していただきたいのが、この「平塚学講座」です。本講座は平塚の自然や歴史について学び、調べ、私たちが住む平塚のまち、地域に目を向け、地域を考えるための講座です。

<本講座の特徴>

- ①**総合的で基礎的な内容**: 地域は自然的歴史的社会的環境で成り立っています。そのため地域の理解には自然・人文両分野の総合的な視点が必要です。本講座は博物館6分野の総合的視点から平塚について基礎的知識を学びます。
- ②**修了認定制**: 本講座は地域を総合的視点で学ぶため、講座全プログラムを受講できることが前提となります。講座修了者には修了証を交付します。

③**座学にとどまらない主体的な学習**: 本講座では、講座で得た知識を生きた知識とし、自ら主体的に地域を学ぶ姿勢を養うため、野外に出て実地で地域を見る「野外実習」と、「野外実習」を踏まえた受講生のグループワークによる「研究成果発表」を行います。受講生には積極的な学習意欲を期待します。

申込: 往復はがきに住所、氏名、電話番号を記入し、9月12日(金)消印有効で申し込む。または博物館webページより申込も可能(締切同日)

定員: 50名(応募多数の場合平塚市在住者優先のうえ、抽選)

2014年度平塚学講座プログラム

回	月日	内容	時間
①	9月20日(土)	ガイダンス / 開講講座	10:30 ~ 12:00
②	9月27日(土)	分野別講座 考古	10:30 ~ 12:00
③	10月4日(土)	分野別講座 天文	10:30 ~ 12:00
④	10月18日(土)	分野別講座 地質	10:30 ~ 12:00
⑤	10月25日(土)	分野別講座 生物	10:30 ~ 12:00
⑥	11月1日(土)	分野別講座 民俗	10:30 ~ 12:00
⑦	11月15日(土)	分野別講座 歴史	10:30 ~ 12:00
⑧	11月29日(土)	野外実習	10:00 ~ 16:00
⑨	12月6日(土)	野外実習まとめ	10:00 ~ 16:00
⑩	1月10日(土)	野外実習発表 / 修了式	10:00 ~ 15:00

富士山と宇宙

日本の最高峰であり世界文化遺産にも登録された富士山。地質学的な側面や文化的側面が大きく取り上げられますが、本展示では宇宙という視点で富士山を紹介します。

富士と大地と天体の運行が織りなす奇跡の瞬間…ダイヤモンド富士にパール富士。富士山頂に太陽が沈んでいくのがダイヤモンド富士、満月が沈んでいくのがパール富士ですが、その美しい光景は、日本中どこでも見られるわけではありません。富士山との距離など様々な要因がありますが、平塚はそれらが美しく見えるちょうどいい場所なのです。9月は平塚でダイヤモンド富士が見られる時期。パール富士と合わせて、市内の観察ポイントなどを紹介します。

富士山は神奈川県から比較的容易に行ける星見スポットとしても知られています。星空を見る場所、としての富士山の魅力を、そこで撮られたきれいな星野写真とともに紹介します。

ほかにも、人工衛星や宇宙飛行士が宇宙から撮影した富士山や富士山と気象の関係、火星や金星などほかの惑星にある火山と富士山の比較なども展示します。皆さんが、新しい視点で富士山を捉える機会になれば幸いです。

【会期】9月6日(土)～11月30日(日)

【会場】2階情報コーナー



陸域観測衛星「だいち2号」が宇宙から撮影した富士山



2014年4月1日に市役所旧庁舎屋上から撮影されたダイヤモンド富士

星空と音楽の夕べ 毎月第3日曜日

毎月第3日曜日に開催されている「星空と音楽の夕べ」。多くのリクエストにお応えして、いよいよホルストの組曲『惑星』が登場します。9月と11月の2回に分けて、星空での惑星の見えかたや天体としての惑星の特徴の紹介とともに、お聴きいただきます。ホルストが惑星からどのような曲想を得て(占星術的な意味合いが大きいですが)この『惑星』を作曲したのかもご紹介します。途中、当館のデジタルプラネタリウム「Uniview」を用いて各惑星への宇宙旅行も体験してみましょう。

お聴きいただくのは、ヘルベルト・フォン・カラヤン指揮、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の演奏録音です。



『惑星』の作曲者
グスターヴ・ホルスト



太陽系の概観
個性豊かな8つの惑星が公転している

<投影予定>

【9月21日(日)】

1. 土星 一老年をもたらすもの
2. 火星 一戦争をもたらすもの
3. 海王星 一神秘をもたらすもの

【11月16日(日)】

1. 金星 一平和をもたらすもの
2. 天王星 一魔術師
3. 木星 一快樂をもたらすもの
4. 水星 一翼のある使者

※ 10月も実施しますが、内容は未定です
また、演奏順は変更になることがあります。

トゲミフチドリツエタケ - 博物館初の新種の標本 -

トゲミフチドリツエタケは、5月に新種として発表されたばかりのきのこです。平塚市博物館に保管されていた古い標本を研究した結果、新種であることが分かったもので、博物館に保管されている標本の一つが、ホロタイプ(正基準標本)という、生きものの名前の基準になる、学術上きわめて重要な標本に指定されました。

トゲミフチドリツエタケという名前は、孢子(ミ)に突起(トゲ)のある、ひだの縁が茶色(フチドリ)のツエタケ、という形態を表したもので、学名 *Dactylosporina brunneomarginata* (ダクティロスポリナ ブルネオマージナータ) も同様の意味を持ちます。

今回の新種のきのこは、神奈川キノコの会というアマチュアの研究会によって収集・整理されてきた標本の中にありました。

実は、きのこは身近なものの中にも名前がつかないものがまだまだたくさんあります。標本の作製・保存が簡単ではないために標本が残らず、他の動植物と違って、アマチュア研究者による研究の底上げが難しいこともその理由の一つです。

神奈川キノコの会は、調査・研究の結果を残し、神奈川県地域の生物多様性の資料とするために、平塚市博物館と協力して多くの標本を蓄積してきました。今回の新種のきのこは、20年以上に渡る地道な活動が実を結んだ1つの成果です。このことは、地域のアマチュア研究者と地域博物館の可能性を示していると考えています。

トゲミフチドリツエタケのホロタイプは9月15日まで、博物館2階展示室内で公開しています。



トゲミフチドリツエタケのホロタイプ



☆秋のプラネタリウム番組☆

幻の流星群を追って

1956年12月5日19時、初めての越冬に向かっていた日本の南極観測船「宗谷」は、インド洋上で突然の流星嵐に遭遇しました。1時間に500個以上も流れた流星の中には、満月ほどの明るい火球も含まれていました。ほうおう座流星群と名付けられたこの流星群は、その後全く観測されることなく、半世紀のあいだ幻となっていました。母彗星が再び発見されたことを皮切りに、活動の実体が明らかになります。過去をさかのぼり、彗星が作り出した星屑の川の位置を計算すると、越冬隊が出会った時刻に地球と最も接近していたのです。この川は今年の冬に再び地球と大接近し、流れ星の雨を降らせませす。

日本人が活躍した、流星の大河ドラマをお楽しみ下さい。



投影日：9月6日(土)～10月26日(日) (1) 午前11時～ (2) 午後2時～ (各回50分程度)

第2, 第4土曜日の11時からの投影は幼児向け投影「ちきゅうをさがせ」

観覧料：200円(18歳未満・65歳以上無料)

※午前9時からその日の観覧券を発売開始

Calendar table for September (9月) with columns for date, day of the week, event name, location, and special notes. Includes events like '博物館実習' and '特別展展示解説'.

Calendar table for October (10月) with columns for date, day of the week, event name, location, and special notes. Includes events like '展示解説ボランティアの会' and 'プラネタリウム一般投影'.

【特別展と関連行事】

- ☆夏期特別展「ぼくたちはひとりぼっち? ~地球の外に生命を探して」
◎特別展展示解説
○秋期特別展関連行事 石仏見学会「須賀の石仏」

【寄贈品コーナー】

- ◎「みどり色の器 -古代平塚の緑釉陶器-」
◎「博物館実習生制作展示 (仮)」

【情報コーナー】

- ◎「ポスト特別展 水と生きる里 金目の風土とその魅力」
◎「富士山と宇宙」

【プラネタリウム】

- 観覧料: 200円 (18歳未満・65歳以上無料)
☆プラネタリウム一般向け番組「幻の流星群を追って」
☆プラネタリウム幼児向け投影「ちきゅうをさがせ」

【自由参加の行事】

- ◎ろばたばなし 場所: 博物館1階 相模の家
日時: 9月21日 (日) (1)午後1時20分 (2)午後3時

☆: プラネタリウム投影日 ○: 申込制行事 ◎: 参加自由 無印: 年間会員制

あなたと博物館 42巻6号 通算453号 発行 平塚市博物館 2200

〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel:0463-33-5111 Fax:0463-31-3949
E-Mail: info07@hirahaku.jp ホームページ http://www.hirahaku.jp/